

【テーマ5】 青少年の社会参加・社会的自立に向けた支援の仕組みと社会環境の整備

めざす方向

◎ 青少年施策（大阪府青少年健全育成条例）及び子ども・若者育成支援（子ども・若者育成支援推進法）の総合的な計画としての性格を有する「大阪府子ども総合計画（＊13）」に基づき、青少年が自立できる社会づくり、青少年が健やかに成長できる社会づくりに取り組みます。

- ・地域において、社会生活を円滑に営む上での様々な困難を有する青少年への支援が適切に行われるよう、市町村に対し、関係機関、民間団体、学校等と連携したネットワークの構築を働きかけます。
- ・スマートフォンが日常生活に不可欠なコミュニケーションツールとして急速に普及していることが、青少年の行動をより危険に近づきやすくしていることから、教育機関等と連携して、ネットリテラシー向上に取り組みます。

（中長期の目標・指標）

- ・若者が自立できる社会～若者が自立し、自らの意思で将来を選択できる社会づくり（大阪府子ども総合計画より）
- ・子どもが健やかに成長できる社会～大阪の未来を担う子どもたちを育てる社会づくり（大阪府子ども総合計画より）

青少年の社会参加・社会的自立に向けた支援の仕組みの整備

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール等）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■ 「子ども・若者支援地域協議会」（＊14）のモデルづくり</p> <p>・社会生活を円滑に営む上での困難を有する子ども・若者に対する支援が、地域において効果的かつ円滑に実施されるよう、市町村が設置する「子ども・若者支援地域協議会」のモデルを策定する。</p> <p>（スケジュール）</p> <p>28年8月 ～11月：関係市町村との連携会議開催（2回程度） 11月：モデル素案作成</p> <p>29年2月：関係市町村との連携会議開催 3月：モデル案策定</p> <p>（29年度に、モデル案を実践し、効果検証を踏まえてその完成をめざすモデル事業を実施する予定）</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係市町村との連携会議の開催（3回程度）。 ・「大阪府版市町村子ども・若者支援地域協議会モデル（仮称）案」を策定。 <p>◇成果指標（アウトカム）</p> <p>（定性的な目標）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的なモデル案の策定により、市町村における自主的な「子ども・若者支援地域協議会」の設置が促進され、地域における子ども・若者への支援が効果的に行われるようになる。 	<p>○市町村における子ども・若者支援地域協議会の設置に向けた検討にあたりそのモデルとなる複数の具体的な事例を、事例集として取りまとめた。</p> <p>〔参考〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村との連携会議を開催（8月） ・市町村担当課長研修会を開催（8月） ・大阪府青少年健全育成審議会を開催（9月） ・他県先進事例の現地視察（10月、2月） ・子ども・若者支援地域協議会設置事例検討会を開催（12月）

青少年を取り巻く社会環境の整備

<今年度何をするか（取組の内容、手法・スケジュール）>	<何をどのような状態にするか（目標）>	<進捗状況（H29.3月末時点）>
<p>■青少年を取り巻く社会環境の整備（IT化に伴う有害情報への対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大阪の子どもを守るネット対策事業（青少年自身がスマートフォンの適切な使い方等を考える OSAKA スマホサミット（*15）の開催や指導者研修の実施）に加えて、インターネット利用の低年齢化に対応するべく、小学生とその保護者に啓発する出前講座「小学生のためのネット・SNS 安全教室」をモデル実施する。 <p>(スケジュール)</p> <p>H28年4月：OSAKA スマホサミット参加校の募集 6月 ～11月：OSAKA スマホサミットまでのワークショップ3回 9月：「小学生のためのネット・SNS 安全教室」モデル実施 12月：OSAKA スマホサミット2016の開催 H29年2月 ～3月：DVD付き事例・教材集の作成・配付</p>	<p>◇活動指標（アウトプット）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・青少年のネットリテラシーを高める取組への機運の醸成。 OSAKA スマホサミットの参加校：10校 ：来場者数300名 小学生のための出前授業：5校 スマホ・SNS のトラブルから子どもを守る指導者研修の受講者数：700名 先進的な実践事例を含んだDVD付きの指導教材の作成：府内の全ての小・中・高等学校等に配付 <p>▷ ◇成果指標（アウトカム）</p> <p>(定性的な目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各学校や家庭・地域において青少年のネットリテラシー向上に向けた気運の醸成を図るとともに、その取組の普及・定着を推進する。 ⇒青少年のネットリテラシー向上 <p>(数値目標)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィルタリングの利用率：50% 	<p>○OSAKA スマホサミット2016開催 ⇒参加校15校、来場者数約300名（12月）</p> <p>○小学生のための出前授業の実施 ⇒実施校5校（10月）</p> <p>○スマホ・SNS のトラブルから子どもを守る指導者研修の実施 ⇒実施回数12回、受講者約600人（7月～12月）</p> <p>○府内の各学校や地域においてネットリテラシーを高める取組を普及・定着させることを目的に、DVD付きの実践事例・指導教材集を配布 ⇒府内の全ての小・中・高等学校等に約3,000部配付（3月）</p> <p>○フィルタリング利用率調査の実施 ⇒フィルタリング利用率48.2%</p>

【部局長コメント（テーマ5総評）】

<取組状況の点検>	<今後の取組みの方向性>
<p>■ 青少年の社会参加・社会的自立に向けた支援の仕組みの整備 当初の目標をほぼ達成することができた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町村との協議を踏まえ、各市町村が、子ども・若者支援地域協議会の設置を検討する際にそのモデルとなる事例を取りまとめた。 	<p>■ 青少年の社会参加・社会的自立に向けた支援の仕組みの整備 平成28年度に作成した事例集の普及、活用促進により、市町村における子ども・若者支援地域協議会の設置をはたらきかけていく。</p>

自己評価



■ 青少年を取り巻く社会環境の整備（IT化に伴う有害情報への対応）

当初の目標をほぼ達成することができた。

- ・ OSAKA スマホサミット 2016 の開催により、青少年がスマートフォン等の利用について主体的に考える場を提供し、各学校や家庭・地域においてネットリテラシー向上の機運を高めることができた。
- ・ また、小学生のためのネット・SNS 安全教室を開催し、ネット利用の低年齢化に対応した教育・啓発活動などに取組んだ。

■ 青少年を取り巻く社会環境の整備（IT化に伴う有害情報への対応）

DVD 付きの実践事例・指導教材集の普及を図るとともに、青少年がスマートフォン等を適切に利活用できるよう、ネットリテラシーを高める取組みを継続実施し、青少年がSNS等を介して犯罪やトラブルに巻き込まれないよう、被害防止に向けた教育・啓発活動などに取組んでいく。